

## 八海グループの紹介

八海クリエイツ株式会社  
株式会社エイテックス

代表取締役社長 関 聡彦



プラスチックと聞いて何を想像されるだろうか？石油、おもちゃ、安い、軽い、リサイクル等々いろいろなものを思いつくのではないだろうか。当社は、このプラスチックでできた部品を作っている会社である。ひとことにプラスチックといってもさまざまな分野で使用されているが、当社が製造しているものは、エンジニアリングプラスチックという特殊な樹脂を用いるもので、産業用、民生用、電子・デバイスといった多彩な分野に使われている。このプラスチックを生産するためには金型という治具が必要であり、これも社内で設計から製造、試作まで対応している。現在、当グループは八海クリエイツ（株）という会社と（株）エイテックスという会社から成り立っている。1957年に東京の品川でスタートし、1967年に現在の新潟県南魚沼郡に移転して現在に至っている。

## 超小型の精密プラスチック部品を造る

当社が得意とするのは、小さくてミクロン単位の精度が要求されるプラスチック部品である。携帯電話、DVD、デジタルカメラ、自動車、腕時計、ゲーム機器等の電気・電子機器に使用されている。その高い品質を支えているのが、当社の金型技術である。お客様からいただいた製品図を2D、3D CADを用いて金型の設計を行い、この設計に従い、熟練したエンジニアが寸法公差1ミクロンの単位

で加工を行っている。最近では、流動解析ソフトを活用し、高精度なシミュレーションの結果をもとに金型設計、加工も行っている。また、金型自体にも多くの独自の工夫を加え、従来のモールドベース一体型の金型から、カートリッジタイプの金型を自社開発し、採用している。これにより従来のベース加工にかかる時間をなくすことで、リードタイムの改善を実現した。加工工程においても、電極作成、放電加工といった工程を、最新の高速加工機を用いることで、焼入型に直接加工を施し、リードタイムの短縮を図っている。こうして従来と同等もしくはそれ以上の品質を実現した上で、リードタイムを短縮する改善により、製造コスト自体の低減を可能にした。また、工場環境においても、多くの差別化を実施している。金型工場では、建設時に4m地面を掘り込み、人口岩盤を設置し基礎を固めた。これにより、外からの振動を極力遮断することで、安定した精密加工を可能にしている。加えて、高能率タイプの空気清浄機を設置することで、金型、成形を行うほぼ全てのフロアでクラス10万のクリーン度という環境を実現した。こういった技術力、製造環境を評価され、多くの日本を代表するお客様からお仕事をいただき、現在では月産8000万個以上の製品を供給している。

昨今、我々製造業では盛んに海外、特に中

国等の安価な労働力を得られる地域への、仕事の流出が話題に上っている。当社も2002年度から、中国の蘇州にある会社と製造委託契約を結び、一部製品を製造している。中国という国は複雑な国で、一口にこうだと言うような表現はできないが、少なくとも当社がターゲットとしている分野の仕事においては、中国に生産を移管する必要を感じていない。何故か？答えは簡単で、お客様の要求に答えられないからである。このように申し上げると、昨今の多くの企業、特に大企業といわれる会社の100%が中国へ進出している事実を見れば、何を言っているのかとお叱りを受けそうだが、実際そうなのだ。お客様が我々に要求することには大きく分けて三つある。一つ目がQuality（品質）、二つ目がCost（価格）、三つ目がDelivery（納期）である。この三つのどこに重きを置くかはお客様によって違うが、当社のような超小物精密部品といった品物の場合、やはり品質が重視される。品質だけを見ると、当社と同等もしくは、それに近い技術力を持っている企業はおそらく中国にはないと言ってよしいかと思う。また、コストについては、一般的には中国は安いというイメージがあるが、これもモノによりけりで、当社のようにオペレーター一人で10台や15台の成形機を管理するものについては、人件費の安さの恩恵というのはあまりなく、また材料なども特殊なため現地で調達ができず結局日本からの輸入になり、逆に日本より高くなるのが現状である。最後に納期については、確かに毎日納品する必要があるような大きなアイテムについては、現地で生産したほうがメリットがあるかと思うが、当社のような小さな製品の場合、万単位で箱に詰められるので、日本からエアで輸出しても輸送コストもそれほどかからず、現地生産との大きな差はないと言えるだろう。

## 日本でものづくりにはげむ

当社にて製造しているような小物精密プラスチック部品については、総じて海外生産のメリットが少ないと言えると思う。当社が生産している品物も最終的にはお客様の海外工場で組み立てられているが、そのほとんどを日本での生産で対応している。当社は日本での“モノづくり”にこだわり、“日本から世界へ”を信念としQCDの向上に励んでいる。

最後に、企業は人なりというが、いかに個々の持っている能力を遺憾なく発揮してもらうかどうかで、会社の成否は決まってくると言っても過言ではないと思う。確かに、当社においても多くの工程で、CADやコンピュータ、NC機器といったものを導入することで自動化を進めている。しかし、金型加工工程などでは、20年以上も使用している汎用の研磨機などがまだまだ現役で活躍し、エンジニアの技能に大きくその精度を依存している。プラスチックの量産成形工程では、いかに少ない人数、究極的には無人工場を可能にするにはどうしたらよいか、日夜当社でも研究をしている。勿論、このような人材は全て最初から技能があったわけではなく、ほぼ100%の方が入社してから、技術・技能を学ばれたとあってよい。持って生まれた感性のようなものも非常に重要であるが、次々に新しいことに挑戦するという探究心、前向きな情熱といったものが一流のエンジニアになる条件かもしれない。現在、こういった従業員の方々のおかげで評価をいただき、業績を伸ばしている当社であるが、まだまだ課題も多く発展途上といえる。今後も更なる発展・成長を目指し、“人づくり”“モノづくり”に邁進していく所存である。

---

八海クリエイツ株式会社  
新潟県南魚沼郡大和町大字九日町2845  
TEL(0257)77-2410  
<http://www.hakkai.jp>